

2014年1月16日

アステラス製薬 企業CM「僕は、アステラスのくすり。」シリーズ第6弾

主人公である「僕」(アステラスのくすり)が
がんと闘いながら娘の結婚式で、
幸せいっぱい泣いている「パパ」を見て、
自分が生まれてこようと決意した理由を思い出すCM
1月18日(土)より放映開始のお知らせ

—小説家 あさのあつこさんが特別に書きおろしたCM連動小説「この手に抱きしめて。」
も新聞広告にて1月20日(月)より5日連続で掲載—

～本シリーズのスペシャルムービー「僕の思い篇」はWEBサイトにて展開～

アステラス製薬株式会社(社長:畑中 好彦、以下、アステラス製薬)は、企業CMシリーズ「僕は、アステラスのくすり。」の第6弾「パパとぼく／結婚式篇」を、2014年1月18日(土)より放映します。

アステラス製薬は、2007年より、「明日は変えられる。」のコミュニケーションスローガンのもと、アンメットメディカルニーズを満たす新薬で、世界中の患者さんの健康に貢献していくという、アステラス製薬の企業姿勢を発信していくブランドコミュニケーションを展開しています。

2011年から展開している企業CM「僕は、アステラスのくすり。」シリーズは、これまで企業広告で発信してきた創薬への想いをより深く感じてもらえるよう、アステラス製薬のくすり(医療用医薬品)自身が主人公(「僕」となり、一人称の言葉で語っています。くすり自身のこと、アステラス製薬のこと、医療関係者のこと、患者さんのこと、患者さんの家族のことなどを、くすりの視点から表現し、共感性の高いCMを目指しています。

そして、1月18日(土)から放映を開始する第6弾のCMは、がんと闘うパパの次女の結婚式当日の物語です。

がんと闘っているパパが、心待ちにしていた次女の結婚式。がんと告げられた日、泣くのはやめると決めたパパが、次女のウェディング姿に幸せいっぱいの笑顔で泣きじゃくります。そんなパパを見て、主人公である「くすり」は、自分が生まれてこようと決意した理由を改めて思い出します。

このCMの中で「僕」が語るパパや家族への思いこそ、病気と闘うすべての人々と、勇気と希望を共有していきたいという、アステラス製薬の社員一人ひとりの思いでもあります。

今回も引き続き、優しいタッチの作風で知られるアニメーション作家 城井文^{あや}さんが、このCMのためだけのアニメーションを書き下ろしています。

それを引き立てるナレーターに女優 本上まなみさんを起用し、矢野顕子さんの楽曲にのせて、アステラス製薬の想いを広く、深く伝えていきます。

また、今回はCMに加えて1月20日(月)から1月24日(金)まで、朝日新聞(全国通し)の夕刊フロント面にて、小説家 あさのあつこさんに連動小説を書きおろしていただきます。

こちらでは、CMと連動した物語として全5話にわたりお楽しみいただけます。

※1月25日(土)の朝日新聞(全国通し)朝刊にて、全5話分をまとめて掲載する予定です。

さらに、今回は「僕は、アステラスのくすり。」シリーズのスペシャルムービー「僕の思い篇」をアステラス製薬のウェブサイト(<http://www.astellas.com/jp/>)にて配信します。アステラス製薬の創薬への想いを、「僕」(アステラス製薬のくすり)が、第6話までのシリーズを回想しながら、改めて伝えていきます。

※CMカット表は、別紙1を参照ください。

第6弾のCMは、下記の通り放映予定です。

・テレビ東京「Letters ～感謝の手紙～」

毎週木曜日 20時54分から

※ 同番組はBS-JAPANでも放映。(毎週土曜日 20時54分から)

・テレビスポットCM

東京地区／大阪地区にて1月18日(土)～1月26日(日)まで放映。

交通広告については、下記の通り展開予定です。

・JR 山手線・京浜東北線・根岸線・中央線等のドア横額面 (1月20日(月)～1月26日(日))

・東急線のドア横額面 (1月20日(月)～1月26日(日))

・大阪市営地下鉄のドア横額面 (1月21日(火)～1月27日(月))

本CMの30秒・60秒バージョンもアステラス製薬のウェブサイト(<http://www.astellas.com/jp/>)に掲載しています。また城井文さん、本上まなみさん、矢野顕子さんが登場するスペシャルコンテンツもご覧いただけます。

第1話から第5話のCM内容及び出演者のプロフィールは、別紙2を参照ください。

アステラス製薬は、今後もさまざまな媒体を通じて、病気と闘うすべての人々と、勇気と希望を共有できるようなブランドコミュニケーションを展開していきます。

以上

【お問い合わせ先】

アステラス製薬株式会社 広報部

TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473

1



僕は、アステラスのくすり。

2



パパさんのがんと闘っています。

今日は、娘さんの結婚式。

がんと知って、

3



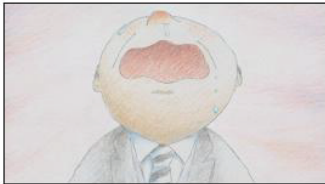
泣かないと決めたあなたが、

4



今、幸せいっぱい

5



泣いています。

6



おなじ気持ちの家族がいます。

7



だから、

僕は生まれてこようと決めたんだ。

8



世界にまだないくすりのために。

9



アステラス製薬



<別紙2>

■ 第1話から第5話CMについて

「僕はアステラスのくすり。」は、医療用医薬品であるアステラス製薬のくすりが「僕」として一人称で語っていく物語です。

第1話「はじめまして篇」は、くすりである主人公の「僕」の自己紹介と、くすりから見た医師や患者さんとの関わりを描いています。

第2話「サッカー少年とぼく/移植手術篇」は、臓器移植の手術を翌日に控えた、サッカー選手を夢見る少年への想いを描いています。

第3話「サッカー少年とぼく/決勝戦篇」は、無事に移植手術を乗り越え、夢にまで見たサッカーの決勝戦で見事ゴールを決め、元気になった少年へエールを送っています。

第4話「お婆ちゃんとぼく/遠出の夢篇」は、トイレが近いことを悩み、家族みんなでの外出も遠慮するお婆ちゃんに「思い出を一緒に作っていこうね」と優しく語りかけています。

第5話「パパとぼく/娘への想い篇」は、がんと闘いながら、娘の結婚式を楽しみにしているパパに、「僕」がパパの支えになることを誓います。

■ アニメーション担当 プロフィール

【城井 文(しろい あや)】



1968年生まれ

東京芸術大学デザイン科在学中より、CINANIMA 95 (オランダ) 入選

BACA - JA 1996年 最優秀賞受賞、同大学大学院修了作品買い上げ。

修了後、助手、講師をしながら、アニメーション作家として活躍。

子ども番組を中心にPV、CMなど、音楽にあわせたアニメーションが得意。

代表作「象の背中」。

現在、東京芸術大学、東京工芸大学、アミューズメントメディア総合芸術学院の非常勤講師も務める。

■ ナレーション担当 プロフィール

【本上 まなみ(ほんじょう まなみ)】



1975年東京生まれ、大阪育ち。

女優として数々のドラマ、映画に出演。

バラエティ番組MC、ラジオ番組ナビゲーターも務める。

また、雑誌の連載を持つなどエッセイストとしても活躍。

その活動は多岐に亘る。趣味は絵本の朗読と旅行。

二児の母。

■ 作曲担当アーティスト プロフィール
【矢野 顕子(やの あきこ)】



1976年にデビュー。その後、YMOとの共演、ピアノ弾き語り「出前コンサート」、児童詩・童謡とのジョイントなど、ジャズ・ロックからクラシックまでの幅広いミュージシャン達との交流を持ち、ジャンルにとらわれない自由・ユニークで質の高い活動を続け、高い評価を獲得。1990年、ニューヨーク州へ移住。トーマス・ドルビー、パット・メセニー、チーフタンズ、Tボーン・バーネットをはじめとした、世界的なアーティストとの共同制作を行う。2009年2月には、10年振りとなる弾き語りアルバム「音楽堂」をリリースした。